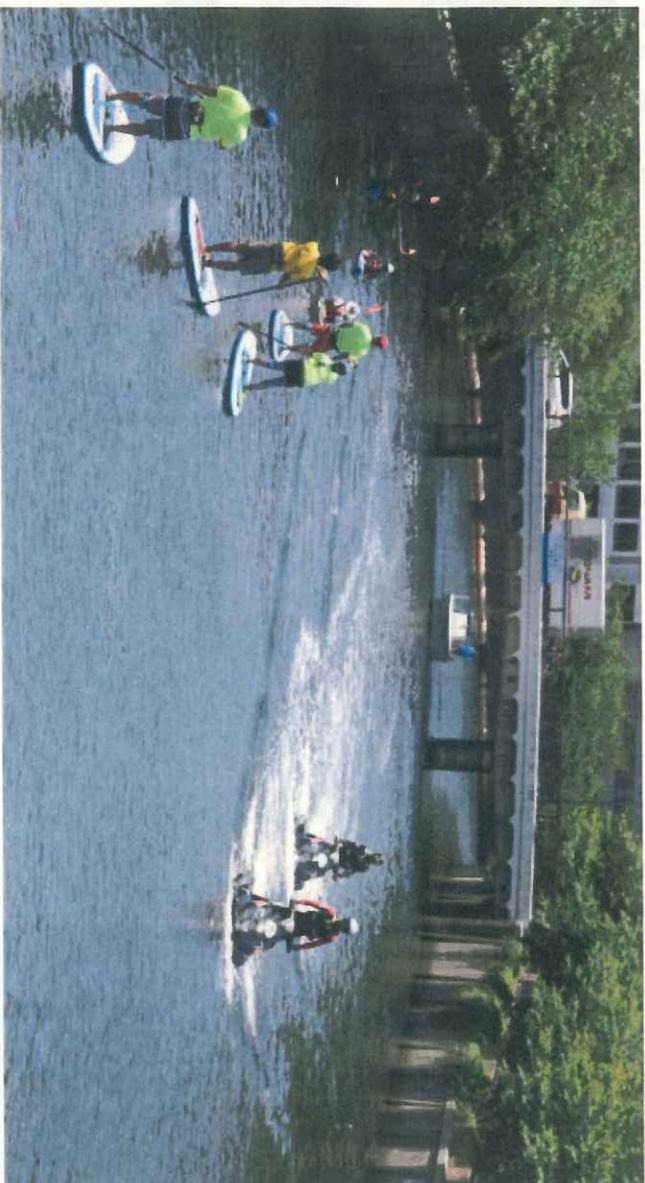


大岡川安全航行ガイドに於ける水上バイクの検証実験報告

2017年6月2日 大岡川 桜棧橋



一般社団法人 大岡川川の駅運営委員会
横浜SUP倶楽部 NPO横浜シーカレンス
東京港・湾・河川 水上オートバイ安全航行推進プロジェクト
(公)マリンスポーツ財団

写真提供 横浜SUP倶楽部 他

大岡川安全航行ガイドに於ける水上バイクの検証実験報告

本検証実験は大岡川下流域の河川において、動力船(水上バイク等)と非動力船(SUP・カヌー・ゴムボート等)が河川を航行する際に、互いに安全航行する上での適切な航行速度や走行方法を具体的に検証を行い、今後の安全利用ルール「大岡川航行ガイド」に役立てる事を目的に行う。

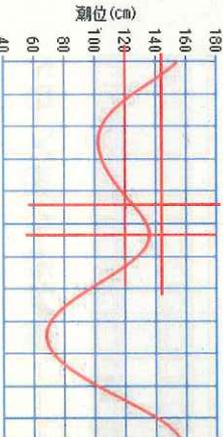
開催日時: 2017年6月2日(金)AM:10:00~PM12:00

開催場所: 大岡川下流域
黄金橋~旭橋の区間で桜棧橋を中心に行う。

- 検証概要:**
- ① 河川内の水上バイクに於ける安全航行速度の検証。
(川幅約27mの護岸に於ける徐行・再徐行の速度検証)
 - ② 水上バイクと非動力船の追い越し、すれ違い時の引き波の影響の検証。
 - ③ 水上バイクの高速&スラローム走行に於ける引き波の影響の確認。

参加協力団体:
 TPSP:東京港・湾・河川 水上オートバイ安全航行推進プロジェクト
 (公)マリンスポーツ財団
 一般社団法人 大岡川川の駅運営委員会
 横浜SUP倶楽部
 日本SUP振興会 理事長(大石隆太郎)
 NPO横浜シーフレンズ
 機クエーエムシーコーポレーション
 (株)サンパウナーカース

取材協力:
 神奈川新聞
 タウンニュース
 産経新聞



当日の気象状況 (AM10:00) 干潮・満潮時間
 天候 晴
 気圧 15.3hPa
 風速 9.9m/s
 気温 24.4℃
 湿度 50%
 風向 南西



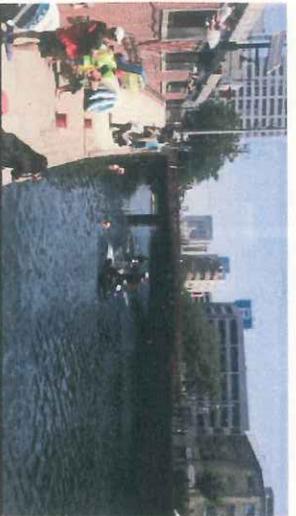
検証実験内容

1. 水上バイクの速度別による、引き波の状況を調査。(桟橋の横約5m~8m離れて走行し速度別で引き波の影響を見た。)



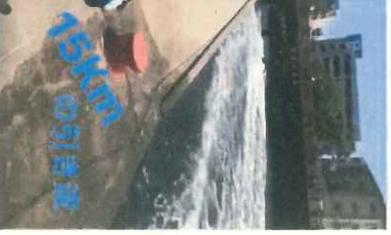
- 【1】アイトリング程度 時速 3Kmで走行
- 【2】再徐行速度 時速 5Kmで走行
- 【3】徐行速度 時速 8Kmで走行
- 【4】禁止速度 時速 15Kmで走行

【1】アイトリング程度：時速3Kmで走行



桟橋に引きがギリギリ乗越える程度を確認

【3】徐行速度：時速8Kmで走行

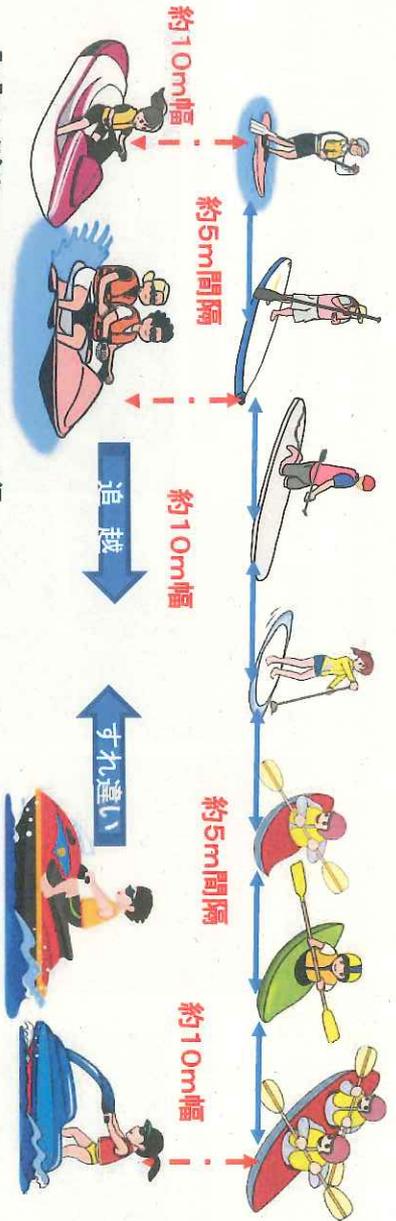


桟橋に引き波が2m乗越えるのを確認

桟橋と水面の高さが5~10cm程度ですが、時速5Kmでチヨイ濡れる程度ですが、時速8Kmでは1m越え、時速15Kmでは2m越えの引き波が襲って来た。

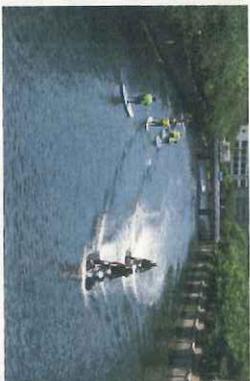
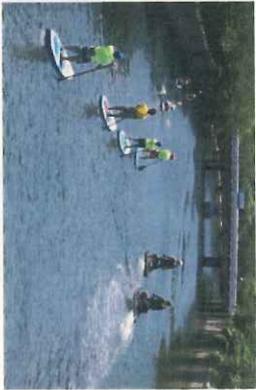
また、桟橋にぶつかった波は2台目の引き波で増幅される。数台で走行されると、中々波が治まらない状態と成るの今迄何度も経験している。

2. 水上バイクと非動力カートの追い越し、すれ違い時の引き波の影響の検証。



【1】アイドリング程度：時速3kmで走行

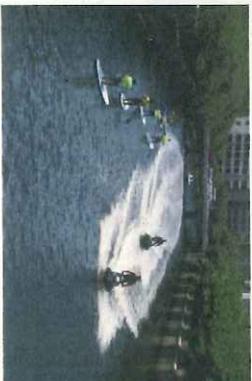
- 【1】アイドリング程度：時速 3kmで走行
- 【2】再徐行速度：時速 5kmで走行
- 【3】徐行速度：時速 8kmで走行
- 【4】禁止速度：時速 15kmで走行



後方から追越であるが引き波がほとんど少ないのを確認

前方からすれ違いですが引き波に注意しているのを確認

【3】徐行速度：時速8kmで走行



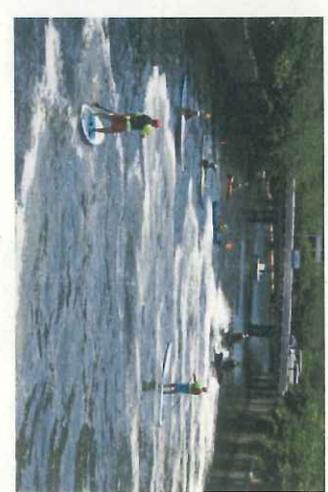
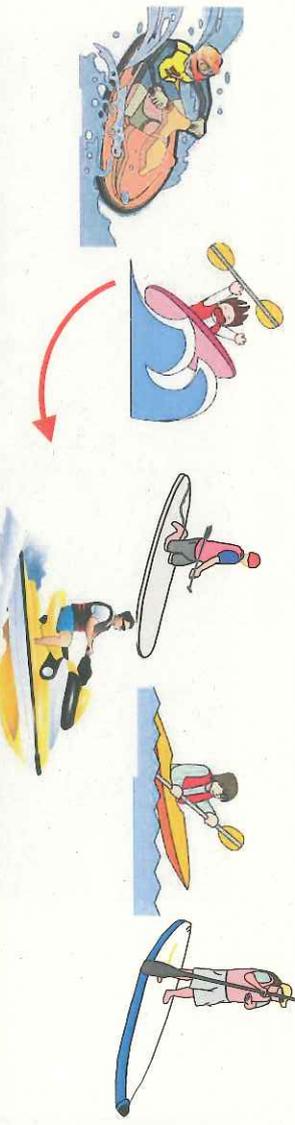
後方からの引き波で、コントロールが取り難いのを確認

前方からの引き波で注意しているが波が大きく如何にか持ちこたえたのを確認

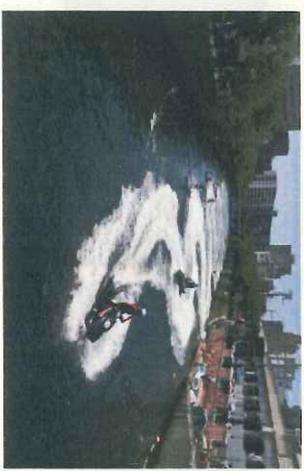
後方から追い抜く場合、SUP等は後ろにフィンがあるので引き波のコントロールが取り難い為、3km以下の減速で10m以上の幅を取るのが望ましい。

前方からすれ違う場合も、中に初心者がいる事を意識し通過後の引き波に注意して、3km以下の減速で10m以上の幅を取り、挨拶を交わす程度の余裕が欲しい。

3. 水上バイクの高速&スラローム走行に於ける引き波の影響の確認。



後方から追い抜きで、時速10km~15kmでスラローム走行に対し、上級者のSUPメンバーとカヌーメンバーが引き波を耐え凌ぎました。



通り過ぎた直後は、問題無いのですが
その後、引き波が拡散し増幅されると、波が読み切れず、水没。



前方すれ違いでも、時速20kmでスラローム走行に対しては、上級者のSUPメンバーでもやはり水没は免れない程の引き波の強さです。